

英語科学習指導案

Nagata Junior High School

Date : Friday, November 12th (3rd period)

Class : 3 - 1 (14 boys and 17 girls)

Instructor : Daiichiro Yamasaki (JTE 1)

Shoko Takagi (JTE 2)

1 Text : NEW HORIZON ENGLISH COURSE 3 , Unit 5 " Video Games | For or Against ?"

2 Lesson Survey (単元の題材観・指導観)

本課は、ゲームの紹介、ゲームを巡る親子の対話、「格闘ゲームは子どもに悪影響をもつか」というインターネット上での議論、と展開する。生徒にとって身近な話題であるだけでなく、議論のテーマとしても今日的なものである。その内容を通して、自分の意見をもたせ、お互いに表現し、議論を展開することは英語学習の上からも大変意義深いものである。言語材料としては、分詞の後置修飾や間接疑問文、議論に必要な表現が扱われている。間接疑問文は、現行の学習指導要領では理解の段階にとどめることとなっているが、生徒たちが言語の知識としてしっかり理解し、英語を通じた議論の中で簡単な表現が運用できるように指導していきたい。

具体的には、本課においては「聞くこと」「話すこと」に重点を置き、「英語で議論できるようになる。」というタスクを設定した。活動内容としては、第1時から第4時まで、教科書を活用して、言語の使用場面と働きに着目した表現活動を中心に学習を進める。言語材料などの基礎・基本的内容を、習熟の程度に応じながら少人数指導で定着させ、議論に必要な表現を身につけさせ、自分の意見を英語で表現できるまで高めていく。第5時から第8時にかけて、教科書で扱われている議論をもとに、ペアやグループといった学習形態を工夫しながら、友達と英語で議論を交わせるようにする。第5時から第8時にかけての指導形態は、Team Teachingを行い、生徒たちはソシオメトリーで組んだペア・グループを中心に、ディベートの準備を進めさせる。第8時では、教科書で扱われている議論をもとに、学級内で一部ディベート形式を取り入れた活動を行わせる。

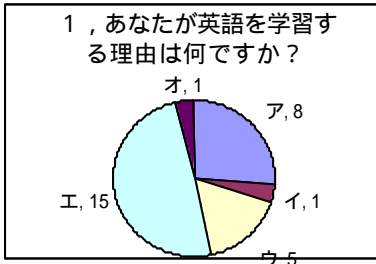
このような指導を通して、生徒にタスク追究の過程で、基礎的・基本的な内容を身につけさせ、英語での議論を行わせることにより、「英語で自分の意見を述べ、相手に伝えることができた。」という達成感や自己肯定感を味わわせたい。

3 Class Survey (学級の実態) (3 - 1, 14 boys and 17 girls)

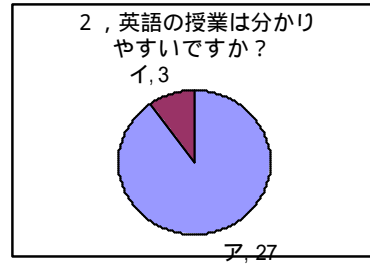
本学級の生徒は、全体的に明るく、相互理解や協力もできている。行事や係活動など、みんなで協力して、ひとつの目標に向かって取り組む姿勢ができている。また、お互いが意見を述べ合い、それを理解し合おうとする雰囲気もできている。

本学年は、1年生時からTeam Teachingで英語の授業を行ってきた。3年生では、5月から学習内容の習熟の程度に応じた指導を取り入れ、2学期初めに若干のコース変更を行った。ほとんどの単元において、生徒の習熟の程度に応じて、基礎・基本の定着や、自己表現能力、対話能力の育成に力を注いできた。しかし、英語学習に対する興味・関心、学習内容の習熟の程度に差が出ていることは否定できない。

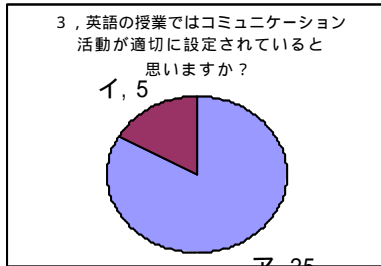
< 英語授業に関するアンケート調査結果 > 3年1組 10月18日(月)実施 30名回答(グラフの数字は人数)



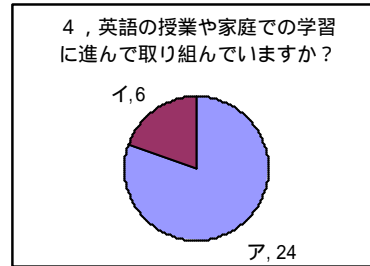
- ア 外国人とコミュニケーションしたいから。
- イ 語学力をいかした職業につきたいから。
- ウ 英語は仕事に必ず必要だから。
- エ 受験教科にあるから。
- オ その他



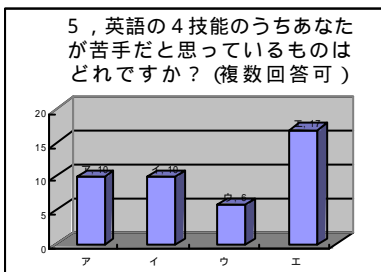
- ア はい
- イ いいえ



- ア はい
- イ いいえ



- ア はい
- イ いいえ



- ア 聞く
- イ 話す
- ウ 読む
- エ 書く

6, 英語の授業の中であなたが好きな活動は何ですか?(自由記述)

- ・英語の歌を歌うこと・ペアで本文を読むこと
- ・習った表現を用いた対話活動・長文速読

7, 英語学習を通して、あなたは今後どんな力をつけていきたいですか?(自由記述)

- ・外国人と話す時に困らないような英会話力・長文読解
- ・英文を書く力(メールなど)・英語の資格を取得できる力

3年生の2学期という時期もあり、英語学習も受験を意識しながら進めていることが分かる。一方で「外国人とコミュニケーションしたい」など、英語をコミュニケーションの手段としてとらえている生徒も少なくない。授業に関してはおおむね満足しているのとらえることができるが、「いいえ」と答えた生徒の意見も大事にしていきたい。4技能のうち、「書くこと」を苦手と感じている生徒が多い。日頃から、言語材料の定着と英語で自己表現できることを目指した授業に取り組んでいるが、本課でもディベート形式の活動を目標にスモールタスクを設定して、「書くこと」への抵抗感を取り除いていきたい。

以上のことをもとに、本課では、TTや少人数指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導など、指導方法を工夫しながら、生徒たちが自分の意見を英語で発表したり議論したりしようとする意欲を引き出せるようにしたい。

4 Lesson Plan (指導計画)

- (1) タスク 「英語で議論できるようになる。」
- (2) 言語の使用場面と言語の働き

言語の使用場面	言語の働き	表現形式
・ゲームについて ・家で ・インターネットで議論	・紹介する ・答える ・賛成, 反対する ・意見を言う	This is a game made in Japan. I don't know what you mean. I agree with your mother. What about children watching horror movies ? The point is this. I see what you mean. How about having age limits ?

時	学習過程	主な学習活動の内容	学習形態	指導の重点			
				L	S	R	W
第1時	学習計画の確認 スキーマ形成 重要表現の導入	本課の学習計画の確認, あらましの把握 ディベートのビデオ視聴・ディベートのやり方 分詞の後置修飾の提示・確認 間接疑問文の提示・確認	少人数指導 (ペア)				
第2時	重要表現の練習	分詞の後置修飾の理解・練習 間接疑問文の理解・練習					
第3時	Starting Out の内容理解	本文の内容理解・音読・英問英答					
第4時	Dialog の内容理解	本文の内容理解・音読・英問英答					
第4時	(本課のタスク追究活動) 表現活動 表現活動 表現活動	ディベートの基礎練習(意見の述べ方) ディベートの基礎練習(肯定意見・否定意見) ディベートの基礎練習(賛成・反対の言い方)					
第5時	R.C. の内容理解 表現活動 表現活動	本文の内容理解・音読・英問英答 ディベートの基礎練習(反駁の仕方) 教科書中の主張に対する意見	Team-Teaching (ペア) (グループ)				
第6時	本課の補充・深化 表現活動	重要表現を用いた言語活動 教科書中の主張に対する意見の発表・議論	Team-Teaching (ペア) (グループ)				
第7時	表現活動	ディベートの基礎練習 (ペアでディベート, マイクロディベート)	Team-Teaching (ペア) (グループ)				
第8時	学級ディベート大会 (表現活動)	ディベート大会(グループ対抗)	Team-Teaching				
第9時	課テスト	スピーキングテスト 基本表現の定着を図るテスト	少人数指導				

(R.C.: Reading for Communication L: Listening S: Speaking R: Reading W: Writing)

(4) 評価規準表 別紙参照

5 Aims of This Period (本時の目標)

(1) 指導の重点

「聞くこと」「話すこと」

(2) 本時の行動目標

これまで学習した議論の仕方や必要な表現を活用して、トピック「格闘ゲームは子どもたちにとってよくない。」に対して、自分の考えを英語で発表したり議論したりすることができる。

(3) 本時の指導目標

- 1 既習表現を通じた表現活動を、進んで行うことができるようにする。
- 2 格闘ゲームについて、英語で自分の考えを述べるようにする。
- 3 格闘ゲームについて、友達の英語による意見を理解できるようにする。
- 4 英語での議論の仕方について理解できるようにする。

(4) 本時の実際(8/9)

区分 (分)	教授 = 学習過程	生徒の活動	教師の活動 (JTE 1 & JTE 2)	・指導の留意点 評価(評価規準表との関連) 補説
導 入 (7)	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">START</div> <div style="margin: 5px auto; width: 100px; border-bottom: 1px solid black;"></div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80%;">Greetings</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%; text-align: center;">1</div> </div> </div>	1 英語で挨拶する。	・ 英語で挨拶する。	・ 英語学習の雰囲気づくりに努める。
	<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80%;">Warm - Up</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%; text-align: center;">2</div> </div>	2 与えられたトピックに対して意見を言う練習をする。	・ 活動の模範を示し、生徒の活動を支援する。	・ 生徒が自分の考えを述べられる雰囲気をつくるようにする。
展 開	<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80%;">Grasping Task</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%; text-align: center;">3</div> </div>	3 本時のタスクを把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">「格闘ゲームは子どもたちにとってよくない。」について、英語で議論できるようになるう。</div>	・ 本時のタスクを提示する。	・ 生徒と会話をしながら、生徒の学習意欲を高めるようにする。

展 開 (40)	<pre> graph TD A[Presentation & Cross Exams in Groups 4] --> B[Presentation in Class 5] B --> C{Cross Exams 6} C -- No --> C_Aux[Aux.] C -- Yes --> D[Operation Time 7] D --> E{Conclusion 8} E -- No --> E_Aux[Aux.] E -- Yes --> F[Consolidation 9] F --> G[Assignments 10] G --> H[End] </pre>	<p>4 テーマについて、グループ内で立論と質疑応答をする。</p> <p>5 肯定派と否定派から1グループずつ発表する。</p> <p>6 発表したグループに対して質問や反駁をする。</p> <p>7 質問や反駁をもとにテーマについての結論をグループでまとめる。</p> <p>8 結論を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各グループの活動を支援する。 発表するグループを支援する。 適切な質問や反駁ができるように支援する。 各グループのまとめをチェックし、アドバイスする。 各グループリーダーに発表させる。 本時の学習内容を整理して提示する。 宅習事項と次時の学習内容を提示する。 英語で挨拶する。 	<ul style="list-style-type: none"> 質問と応答が適切にできるように、必要な表現をアドバイスする。 発表者側と聞く側に分かれて支援する。 <small>(プレゼンテーションソフト(パソコン)の活用)</small> 適切な質問や反駁、応答ができたか。 (のウ) 理解できない英文等を簡単に説明する。 補助発問等を入れ、生徒たちの考えが深まるようにする。 自分たちの考えを正しく英語で表現できたか。 (のオ) 生徒たちの発表を支援する。 自己評価票に自己評価を記入させる。 具体的に提示し、メモさせる。 	
		<p>9 本時の学習内容を振り返る。</p> <p>10 宅習事項と次時の学習内容を確認する。</p> <p>英語で挨拶する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容を整理して提示する。 宅習事項と次時の学習内容を提示する。 英語で挨拶する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価票に自己評価を記入させる。 具体的に提示し、メモさせる。 	
		終末 (3)	End		

(5) 評価

これまで学習した議論の仕方や必要な表現を活用して、トピック「格闘ゲームは子どもたちにとってよくない。」に対して、自分の考えを英語で発表したり議論したりすることができたか。

英語科 評価規準 3年 Unit 5 Video Games | For or Against ?

鹿児島市立長田中学校

時	主たる学習活動	指導の重点	評価規準				評価方法
			コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
1 2 3	本課の学習計画の確認，あらましの把握 分詞の後置修飾の理解と練習 間接疑問文の理解と練習	聞く・話す	ア 間違いを恐れず，分詞の後置修飾や間接疑問文の表現を用いて英語で積極的に話している。	(正確な発話) ア 後置修飾や間接疑問文を用いて正しく話すことができる。	(正確な聞きとり) ア ゲームの説明やゲームについての親子の対話を正しく聞き取ることができる。	(言語についての知識) ア 後置修飾や間接疑問文の意味や構造を理解している。	活動の観察 生徒の応答 ワークシート 自己評価票
	S. O. の内容理解・音読・英問英答 Dialogの内容理解・音読・英問英答	聞く・話す	イ 間違いを恐れず，本文の内容についての質問に応じたり，要約を話したりしようとしている。				活動の観察 生徒の応答 ワークシート 自己評価票
4	表現活動 (意見の述べ方) (肯定意見・否定意見) (賛成・反対の言い方)	聞く・話す	ウ 間違いを恐れず，既習表現を用いて自分の意見を述べようとしている。	(正確な発話) イ 自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話すことができる。		(文化についての知識) イ 英語での議論の仕方を理解している。	活動の観察 生徒の応答 ワークシート 自己評価票
5	R.C.の内容理解・音読・英問英答 表現活動 (教科書中の主張に対する意見) (反駁の仕方)	読む・書く	エ 間違いを恐れず，本文の内容についての質問に応じたり，要約を話したりしようとしている。		(正確な読みとり) イ 格闘ゲームの議論を正しく読みとることができる。	(文化についての知識) ウ 英語での議論の仕方を理解している。	活動の観察 生徒の応答 ワークシート 自己評価票
6	表現活動 (ディベートのスピーチ作成)	書く	オ 既習表現を用いて，積極的に自分たちの意見をまとめようとしている。	(正確な筆記) ウ 自分たちの考えが正しく伝わるように英文をまとめることができる。			活動の観察 生徒の応答 ワークシート 自己評価票
7	表現活動 (スピーチ練習・質疑応答予想)	話す・書く	カ 間違いを恐れず，既習表現を用いて自分の意見を述べたり，相手の意見を理解したりしようとしている。	(正確な発話) エ 自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話すことができる。			活動の観察 生徒の応答 ワークシート 自己評価票
8	表現活動 (教科書中の議論に対する意見の発表・議論)	聞く・話す	キ 間違いを恐れず，既習表現を用いて自分の意見を述べようとしている。	(適切な発話) オ 自分の考えや気持ちなどが相手に適切に伝わるように話すことができる。	ウ 発表者が話す内容について具体的な内容や大切な部分を聞き取ることができる。		活動の観察 生徒の応答 ワークシート 自己評価票
9	スピーキングテスト 基本表現の定着を図るテスト	話す・書く	ク 本課で学習したことをもとに，積極的に対話に応じたり，英語で書いたりしている。	カ 基本的な英語の音声の特徴をとらえて正しく発音したり，聞いたことについて正しく問答したりしている。		エ 本課で学習した言語材料の意味や構造を理解している。 オ 英語での議論の仕方や必要な表現を身につけている。	スピーキングテスト 教師作成テスト